

(2/24 一部改定)  
2023 年 スポーツクライミング国際競技大会派遣選手選考基準

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会

1. 権限の所在及び決定の方法

国際競技大会に派遣する日本代表選手を選考する最終的な権限は公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会（以下「当協会」という。）にある。派遣選手の選考は、以下の基準に基づき、強化委員会が推薦し、常務理事会で承認することによって決定する。

2. 日本代表チームの目標

- (1) 第 33 回オリンピック競技大会（2024/パリ）において金メダルを含む複数メダルを獲得する。
- (2) 単種目でのワールドランキング 10 位以内の成績により IFSC 枠を多く獲得することと世界ランキング 11 位から 40 位までの成績を多くの選手が収めることにより恒久的に日本選手が世界で活躍できる場を創り出す。
- (3) IFSC ワールドカップにおける全種目での国別ランキング 1 位を目指し、国際的に「強い日本」を印象づける。
- (4) 第 19 回アジア競技大会（2022/杭州）において金メダルを含む複数メダルを獲得する。

3. 各国際競技大会における選手選考基準

(1) IFSC クライミングワールドカップ 2023

① 選考方針

- A) 第 33 回オリンピック競技大会（2024/パリ）までは JMSCA パリオリンピック強化選手を最優先に選考する。
- B) 単種目での優勝を目指し、日本代表選手団として各種目国別ランキング 1 位獲得への貢献が期待できる選手の中から選考する。

② 国際競技大会派遣のための必要条件

- A) 2023 年 12 月 31 日までに 16 歳に達していること
- B) 当協会登録選手規程に従い B 登録をしていること
- C) 該当種目の 2023 年国内選考大会（③）に参加すること。ただし、指定感染症への感染などの特別な事情により参加できない場合はその限りではない。

③ 2023 年国内選考大会

- A) ボルダージャパンカップ 2023（2023 年 2 月 4-5 日、東京都世田谷区）
- B) リードジャパンカップ 2023（2023 年 2 月 25-26 日、千葉県印西市）
- C) スピードジャパンカップ 2023（2023 年 3 月 12 日、千葉県千葉市）

※2023 年選手派遣標準タイムについては、IFSC または JMSCA が主催・共催・公認するスピード種目の大会を対象とする（2023 年 3 月から 6 月 30 日までの期間）

④ 選考基準

各大会・種目において 3(1)⑤の参加枠を満たすまで以下の参加優先順に従って、参加選手

を選出する。

以下の表に更新箇所あり

参加 優先順	日本代表選手区分及び選考基準	選出予定人数	備考
1	第 6 期 JMSCA パリオリンピック強化選手	詳細は別途「第 6 期 JMSCA パリオリンピック強化選手の選手選考について(改訂版)」にて定める	1 大会 1 種目につき男女最大 4 名までとする
2	IFSC 枠保有選手 (該当種目に限る)	2022 年世界ランキング 10 位以内の選手数	別紙参照
3	【リード、ボルダー】 国内選考大会の上位選手 (該当種目に限る)	優先順 1、2 を除く男女各 8 名	国内選考大会の上位成績者から優先的に各大会の派遣最大数まで派遣する
	【スピード】 a. スピードジャパンカップ 2023 で 3 位以内の選手 b. IFSC または JMSCA が主催・共催・公認するスピード種目の大会において 2023 年選手派遣標準タイムである男子 6.20 秒以内、女子 8.90 秒以内の記録を出した選手	選考基準の該当となった選手数	・個人最高記録の上位者から優先的に各大会の派遣最大数まで派遣する ※1 ・派遣を決定する個人最高記録は派遣対象大会の 30 日以前のものとする
その他	特別追加選手  ※該当選手がいた場合は、優先順 1、2 に次ぐ優先順で選出する	男女最大各 2 名 (該当選手がいた場合のみの選出) ※上位 6 位以内の選手が 3 名以上いた場合は成績上位者から 2 名を選出する	2023 年 IFSC クライミングワールドカップで該当種目にて上位 6 位以内の成績を収めた男女最大各 2 名の選手を次の 1 大会に派遣する。ただし、派遣対象大会は該当成績を収めた日から 30 日以降の次の 1 大会とする

※1 記録が同タイムの場合は、それでも決定しない場合はそれぞれの 2 番目の記録で比べ、より速い記録を持つ選手を優先する。

⑤ IFSC 枠保有選手及び国別枠について

A) IFSC 枠保有選手 (別紙)

2023 年 1 月 1 日時点で該当種目の世界ランキングが 10 位以内であること。

B) 国別枠

日本以外で大会が開催される場合は、ボルダー男女最大5名ずつ、リード男子最大4名/女子最大5名、スピード男女最大5名ずつが参加できる。これは2022年日本代表選手達の世界ランキングの結果に基づく。

- C) チーム構成、予算、安全面等の状況を総合的に判断し、多数の派遣が困難な大会についてはIFSCルールに記載されているa・bの基準の派遣枠よりも少ない選手数を派遣する場合がある。

⑥ 派遣選手決定時期

基本的に派遣選手については各大会の70日前を目処に決定し、大会開催前までに公表する。ただし、特別追加選手やスピード種目において個人記録が上回る選手がいた場合は派遣の30日前に大会派遣選手の入れ替えが行われることがある。

(2) その他の国際競技大会について

下記の国際競技大会の選手選考については以下に記す。

① IFSCクライミング世界選手権2023(2023年8月・スイス)

② 第19回アジア競技大会(2022/杭州)(2023年10月・中国)

※①②の派遣選手は「スポーツクライミング第6期JMCAパリオリンピック強化選手選考について(改定版)」に従う。

③ アジア予選(2023年11月・場所未定)

4. その他

- (1) IFSCルール等が変更された場合及び大会要項の変更があった場合には、選手選考基準も準じて改定をおこなう。
- (2) 選手への渡航費や宿泊費等の補助の詳細については、2023年度強化委員会予算決定後に選手へ通知する。
- (3) 新型コロナウイルス感染症等による大会の延期になった場合及び国内選考大会が予定通りに実施できなかった場合には可能な限り早急に特別措置を公表した上で派遣対象選手を決定する。

## 2023 年 IFSC 枠保有選手の一覧

### 1. ボルダージ種目

緒方良行、檜崎智亜、藤井快、野中生萌、伊藤ふたば

※IFSC クライミング世界選手権 2023 ボルダージ種目 藤井快

### 2. リード種目

本間大晴、百合草碧皇、吉田智音、緒方良行、樋口純裕、谷井菜月、中川瑠

### 3. スピード種目

該当者なし